

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	平野 友基	学校名	豊田市立 青木小学校
実施学年	小学校 5年生	教科	社会科
単元名	米づくりのさかんな地域		

《学びを深めたいポイント》

＜本単元を通して、目指した子ども像＞

- ・ ICTを活用して情報を収集し、社会的な事象を多角的に捉えることのできる子。
- ・ 必要な情報を主体的に収集・判断・分析・表現をし、それらの交流を通して、自らの考えを見つめ直す子。

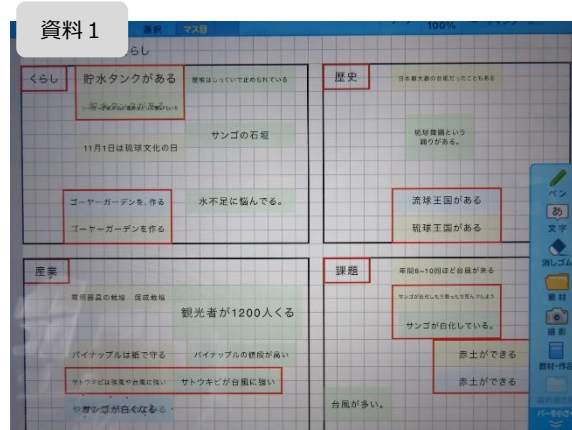


＜学びを深めるポイント＞

本単元では、学習用タブレットを用いて調べ学習を一層充実させるとともに、Zoomを活用して米作りに関わる人々の生の声を聞くなど行い、児童が主体的に情報を収集できるようにした。また、発表ノートを中心に進めた本時の学習では、米づくりについて、生産者の立場、消費者の立場、管理者や協力者の立場など、様々な立場から、日本の米づくりについて、自分なりの考えをもち話し合いが進むようにした。児童が米づくりについて多角的な視点から、集めた情報を活用して自分の考えをもつことを目指したい。

《SKYMENU 活用のポイント》

単元のまとめ学習として、意見交流に Skymenu 発表ノートのグループワークシート「KJ くん」を利用した（資料1）。これは、それまでの学習の振り返りを発表ノート内に付せんとして記録し、その記録を「なぜ大切だったのか」理由をつけて意見交流をした。これらの活動を通して、意見を分類、統合する活動を行い、他者との考えの比較しながら新しい考えに気づかせることを目指した（KJ法）。気づいた考えを個でまとめ、見つめ直すことで、社会的な事象を多面的・多角的に捉える姿を期待したい。



《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	① 本時の課題を知る	「米作りで 大切なことは何か」を考えよう	
展開	② 3人組で司会の進行に沿って、発表ノートのグループ機能を利用し、キーワードの分類や統合する。	① 今まで溜めたキーワードを「なぜ、大切なのか」という理由を付けて交流する。	○ 交流に十分な時間を確保し、話し合いを活発にするために、単元を通して、

	・ ○○は××に分類するのがよいと思います。【分類】 ・ ○○と××は、まとめることができます。なぜなら△△だからです。【統合】 ・ 米作りで特に大切なのは、○○です。なぜなら、△△だからです。【分析】 ・ □□さんの考えに賛成なので、○○を赤で囲みます。 ・ 私たちのグループで、特に大切だと考えたのは …。 ③ 発表ノートのグループ機能を利用し、他のグループと交流内容を共有、比較する。それらを元に、ワークシートに個でまとめ学習を行う。 ・ ○○は、私たちのグループでも大切だと考えました。 ・ ××は気づかなかったけど、大事だと思います。 ・ ××は大切だと思っていたけど、他のグループの○○という意見の方が大切だと思います。	交流の様子  ② 似た（同じ）考えを、「ペン」の図形機能を活用して、四角くグルーピングする。 ③ 司会の進行に沿って、そのグループで大切だと感じたことについて結論付ける。 ④ 一度、グループワークを切り、今度は他のグループとグループワークを行う。 ⑤ 他のグループの活動内容も参考にして、米づくりに大切なことをワークシートに記載する。	毎回の授業の振り返りをキーワードにして発表ノートの付箋に溜める。 ○ グループ学習を円滑に行うために、事前に何番のグループになるのか、またその後の交流ではどのグループになるのかを周知しておく。 ※ 現在は、提出フォルダの機能が拡充しているため、提出フォルダ内で閲覧させると思います。
まとめ	④ ワークシートに振り返りをし、クラス全体で交流をする。 ・ ○○さんの意見を聞いて、××も重要だと分かりました。 ・ 3人の意見が一致した××は米作りでとても大切なことだと思います。 ・ はじめは××が大切だと思っていたけど、○○さんの意見を聞いて考えが変わりました。	振り返りの交流 	

《実践を振り返って》

GIGAスクール構想が進み、学習用タブレットは鉛筆やノートなどのように当たり前のよう使用されることが望まれている。今回の单元では、①情報収集のツールとして、②遠隔地とのコミュニケーション手段として（今回は ZOOM を使用）、そして、③考えの共有や分析、比較の手段として、活用を試みた。特に③の使い方について、今後も様々な場面で活用を試みたいと思う。

実践にあたって、自分で考えた内容を、すぐにグループ、そして全体へ共有できるよさを感じた。また、児童の活動の様子を逐一、全面に映し出していたので、操作が不慣れなグループもその様子を見ながら活動ができた。一方、学び合いをより充実させるには、ある程度発表ノートを使った交流に慣れておくことが必要であると感じた。これは他の場面でもいえるが、小学校の場合、単発で使用しても、あまり効果が出ない。日ごろの授業から、ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、ICTが当たり前に使えるクラスにしておくことが、ICTを活用した学び合いを充実させる一つのポイントだと感じる。